

2026年度

蔵王21号線外1路線・8-1

福山市蔵王町地内

道路のり面修繕工事 実施設計書

当初設計

工事延長 L=78.8m
繊維補強モルタル吹付工 A=2154m²
空隙充填注入工 V=21.5m³
法尻モルタル吹付工 A=26m²

工
事
概
要

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、道路のり面修繕工事（蔵王21号線外1路線・8-1）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黒板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 地権者への承諾

- ・地権者に官地内の境界杭等の有無を確認すること。境界杭等がある場合は工事完了後、復旧することとし、地権者が境界杭等はないと回答をした場合であっても、境界杭等の有無を確認しながら、施工しなければならない。受注者は地権者と現地で立会を行い、境界杭等の有無、位置等の確認を行うこととし、事前、事後に写真記録を行い、適切に管理すること。
- ・受注者は、工事着手に先立ち、地権者に民地への出入の位置を確認し、歩道切り下げ箇所、民地進入路の位置や勾配について監督員と協議すること。
- ・受注者は、街路樹を植樹する近隣の地権者に街路樹を植樹する位置等の説明を行い、承諾を得ること。

第5節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第6節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第7節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第8節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通管制を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第3節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
 - 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
 - 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
 - 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
 - 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
 - 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
 - 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
 - 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第4節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・ 廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
 - ・ 廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
 - ・ 運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
 - ・ 各処分場の現地確認写真
 - ・ 建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し
- ### 2 再生資源利用計画書
- ### 3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・ マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し
（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
- ・ 収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第5節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

・ 建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

・ 特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

・ 特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）

が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

・ 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

・ 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

・ マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第3章 その他

第1節 その他項目

・ 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 70 福山市 00-08.05.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 04 道路改良工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
斜面对策					Y1D03 レベル1
	1	式			
法面工					Y1D0303 レベル2
	1	式			
吹付工					Y1D030302 レベル3
	1	式			
モルタル吹付 【セメント種類,吹付厚】					Y1D03030201 レベル4
		m2			
繊維補強モルタル吹付工 タイプ2					V00001 00
	189	m2			単第0 -0001 表
繊維補強モルタル吹付工 タイプ4					V0001 00
	1,966	m2			単第0 -0012 表
空隙充填注入工					V1008 00
	21.5	m3			単第0 -0017 表
モルタル吹付工 厚7cm [規]100m2未満					SS000267 00
	26	m2			単第0 -0018 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物撤去工					Y1G0228 レベル2
	1	式			
構造物取壊し工					Y1G022806 レベル3
	1	式			
舗装版切断 【舗装版種別,舗装版の全体厚】					Y1G02280602 レベル4
		m			
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下					SPK25040307 00
	114	m			単第0 -0019 表
吹付法面取壊し 【集積積込の有無,工法区分】					Y1G02280607 レベル4
		m2			
吹付法面取壊し 集積積込有り 人力施工					SPK25040028 00
	17	m2			単第0 -0020 表
運搬処理工					Y1G022816 レベル3
	1	式			
殻運搬 【殻種別】					Y1G02281601 レベル4
		m3			
殻運搬 吹付法面とりこわし(モルタル) DID区間無し 運搬距離0.5km以下					SPK25040155 00
	0.9	m3			単第0 -0021 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G02281602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻受入費	2	t			F0000000010 00
仮設工	1	式			Y1D0310 レベル2
交通管理工	1	式			Y1D031021 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1D03102101レベル4
交通誘導警備員B	67	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					

図面番号	1/7	縮尺	S=1:10,000
工種	道路のり面修繕工事		
種別	位置図	番号	
路線名	蔵王21号線外1路線・8-1		
工事箇所	福山市蔵王町地内		
福山市			



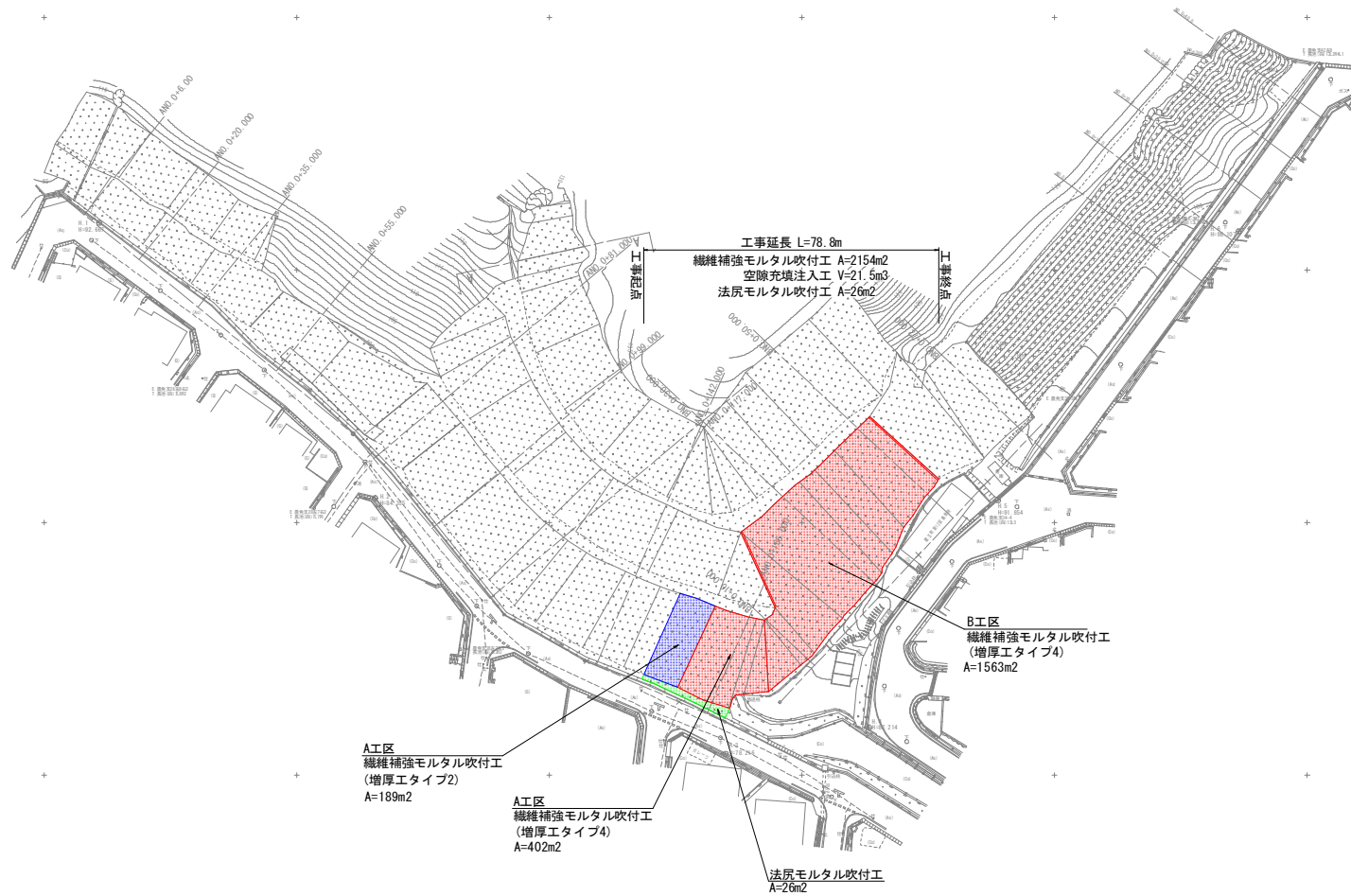
図面番号	2 / 7	縮尺	1:500
工種	道路のり面修繕工事		
種別	平面図	番号	/
路線名	蔵王21号線外1路線・8-1		
工事箇所	福山市蔵王町地内		
福山市			

※この図面はA1～A3に縮尺して印刷しています。

平面図

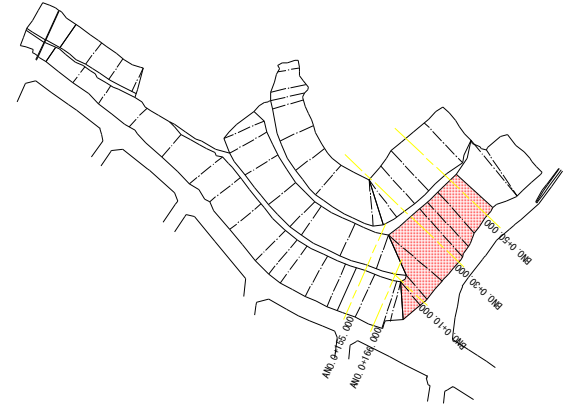
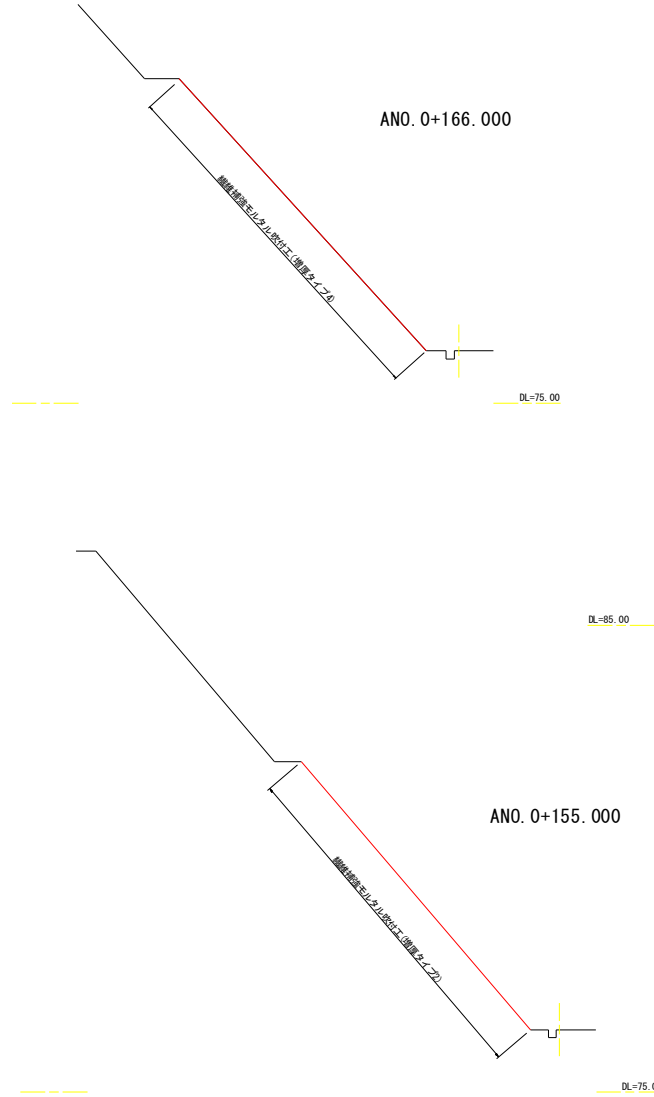


S=1:500



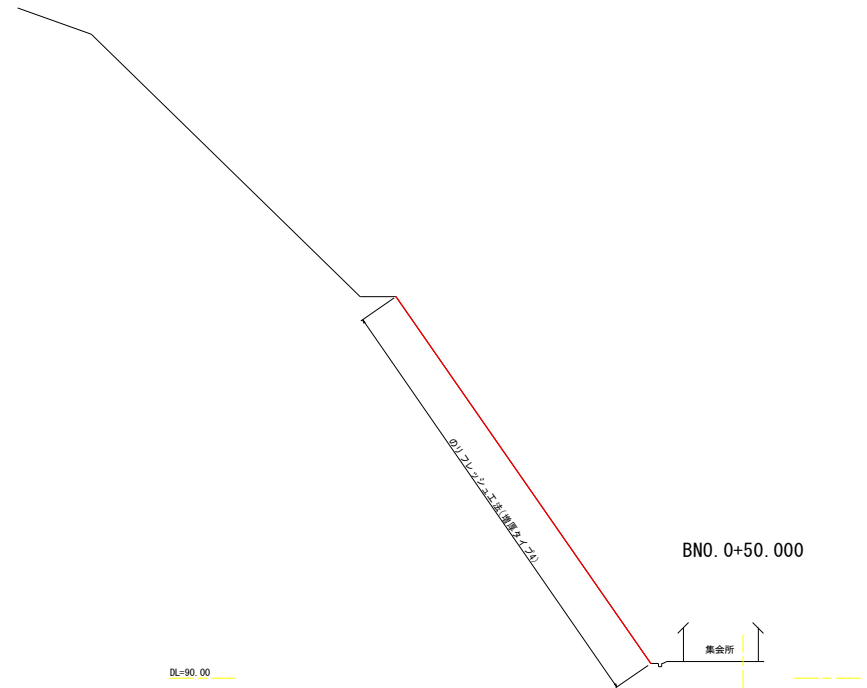
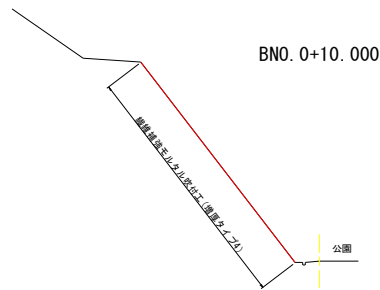
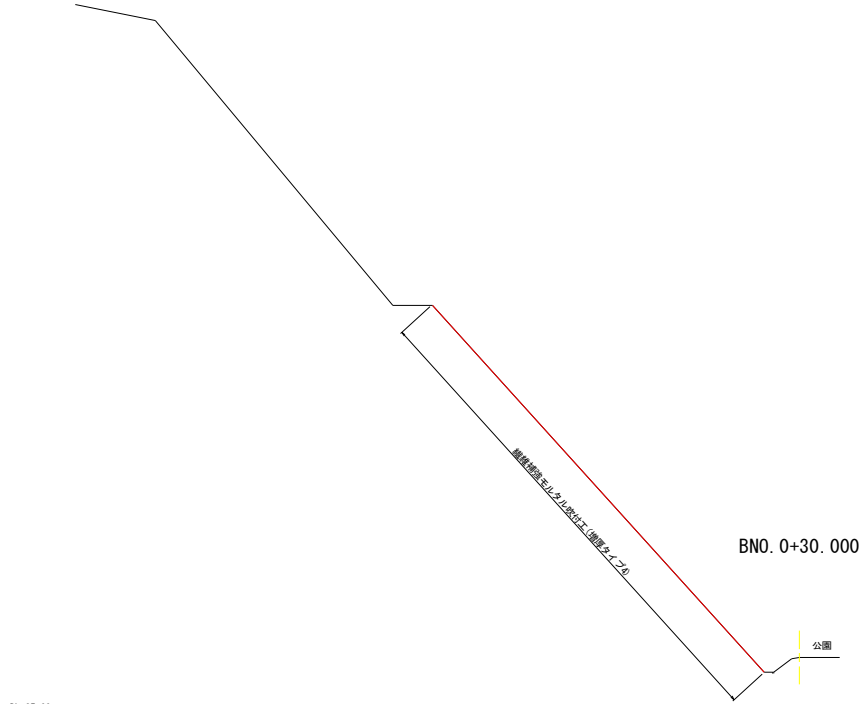
図面番号	3 / 7	縮尺	1:200
工程	道路のり面修繕工事		
種別	横断面図	番号	1 / 2
路線名 河川	蔵王21号線外1路線・8-1		
工事箇所	福山市蔵王町地内		
福 山 市			

横断面図



図面番号	4 / 7	縮尺	1:200
工程	道路のり面修繕工事		
種別	横断面図	番号	2 / 2
路線名 河川	蔵王21号線外1路線・8-1		
工事箇所	福山市蔵王町地内		
福 山 市			

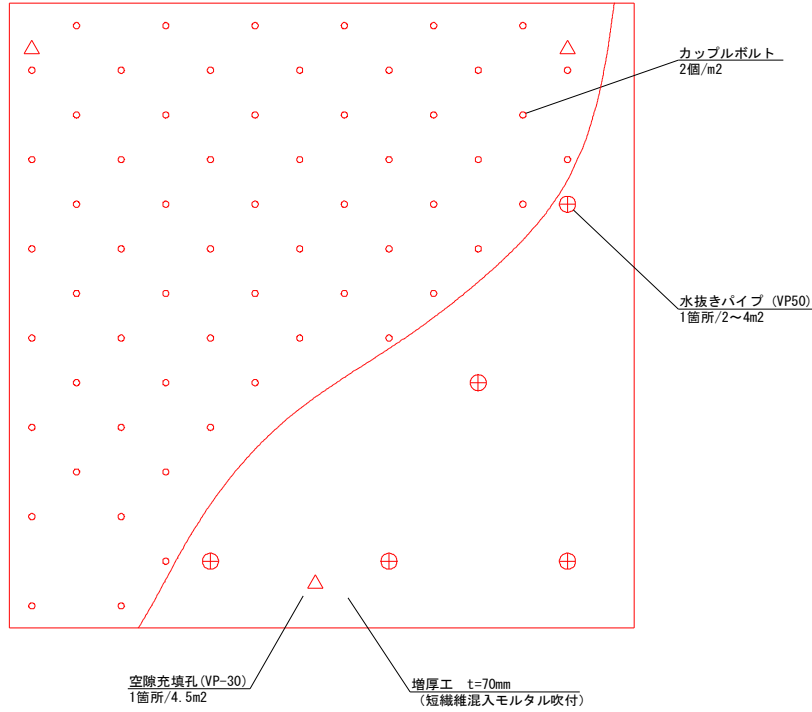
横断面図



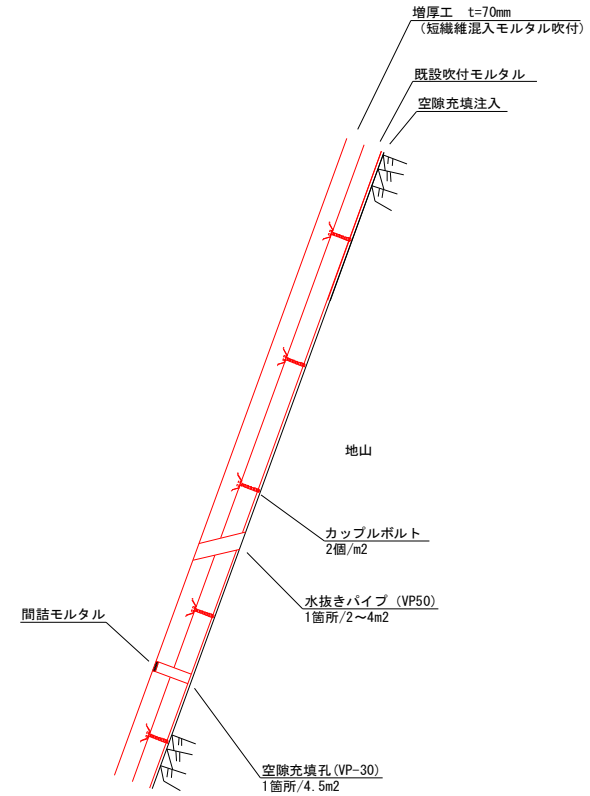
図面番号	5 / 7	縮尺	図示
工程	道路のり面修繕工事		
種別	繊維補強モルタル吹付工標準図	番号	1 / 2
路線名 河川	蔵王21号線外1路線・8-1		
工事箇所	福山市蔵王町地内		
福 山 市			

繊維補強モルタル吹付工標準図 (増厚工 タイプ2)

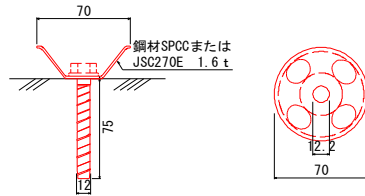
標準展開図
S=1:30



標準断面図
S=1:10



カップルボルト詳細図
S=1:2



数量表

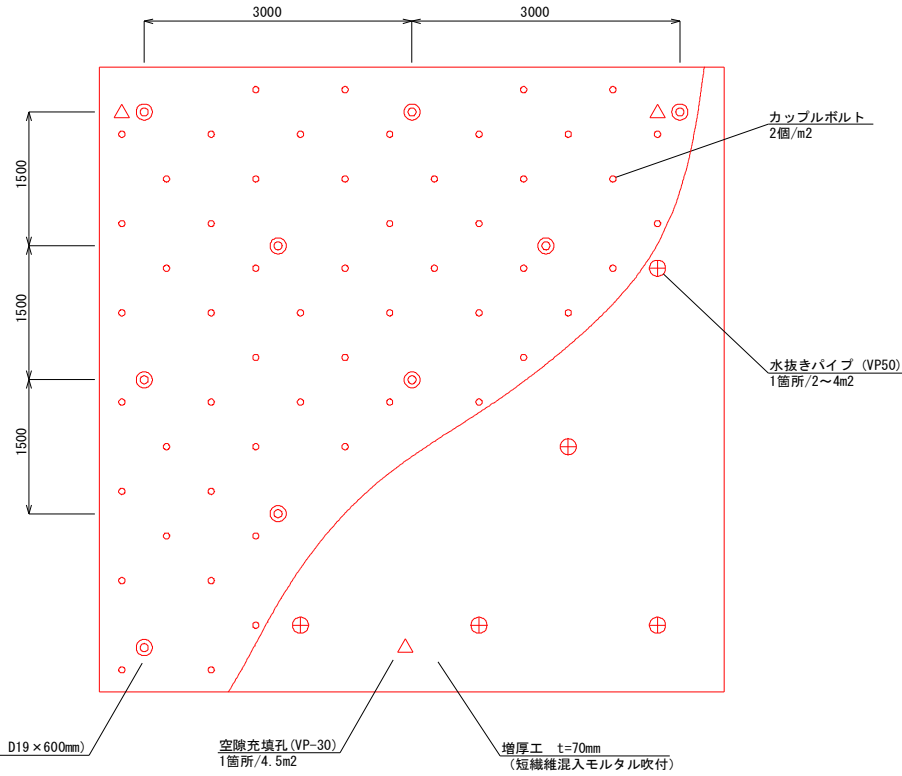
1000m2当たり

名称	規格	単位	数量	備考
カップルボルト工		個	2000	1m2に2個 (カップルプレート分を控除)
注入孔穿孔工	φ40	箇所	222	4.5m2に1本 VP30
水抜きパイプ設置工	φ65	本	250	2~4m2に1本標準 VP50 (設計図書による)
増厚工	t=70mm 短繊維混入モルタル吹付	m2	1000	

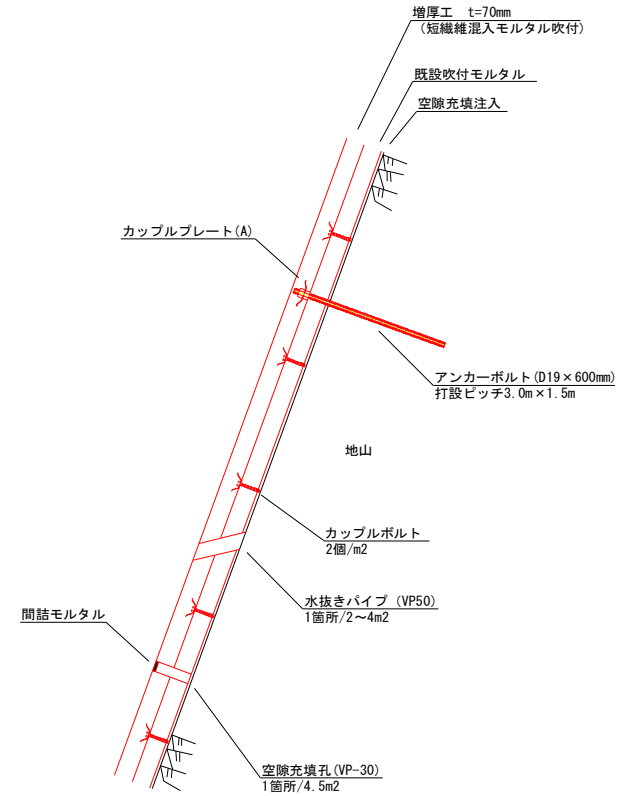
図面番号	6 / 7	縮尺	図示
工程	道路のり面修繕工事		
種別	繊維補強モルタル吹付工標準図	番号	2 / 2
路線名 河川	蔵王21号線外1路線・8-1		
工事箇所	福山市蔵王町地内		
福 山 市			

繊維補強モルタル吹付工標準図 (増厚工 タイプ4)

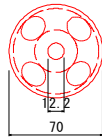
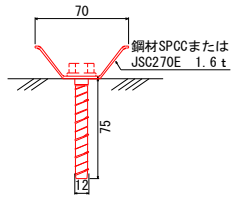
標準展開図
S=1:30



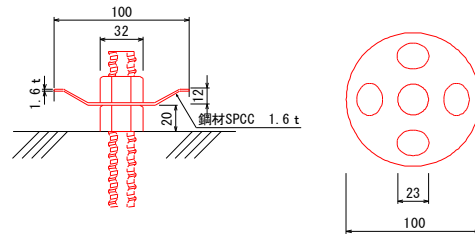
標準断面図
S=1:10



カップルボルト詳細図
S=1:2



カップルプレート (A) 詳細図
S=1:2

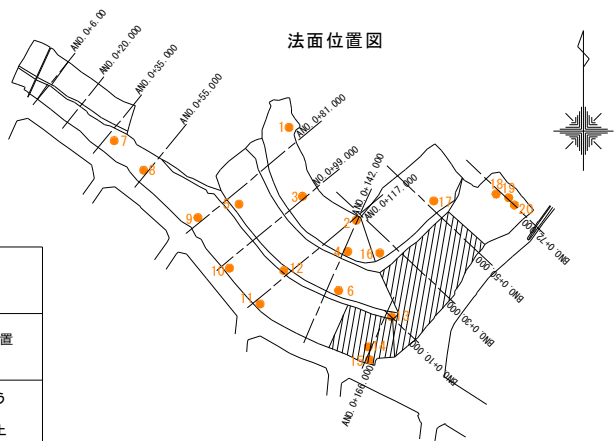


数量表

1000m²当たり

名称	規格	単位	数量	備考
カップルボルト工		個	1778	1m ² に2個 (カップルプレート分を控除)
アンカーボルト工	SD345 D19×600mm	本	222	4.5m ² に1本 カップルプレート (A) 付き
注入孔穿孔工	φ40	箇所	222	4.5m ² に1本 VP30
水抜きパイプ設置工	φ65	本	250	2~4m ² に1本標準 VP50 (設計図書による)
増厚工	t=70mm 短繊維混入モルタル吹付	m ²	1000	

図面番号	7 / 7	縮尺	1:200
工程	道路のり面修繕工事		
種別	法面展開図	番号	/
路線名 河川	蔵王21号線外1路線・8-1		
工事箇所	福山市蔵王町地内		
福 山 市			

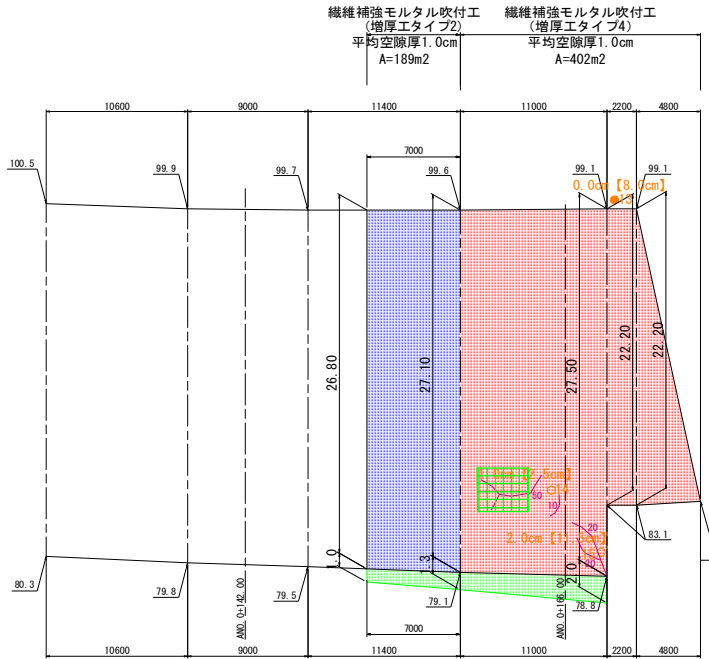
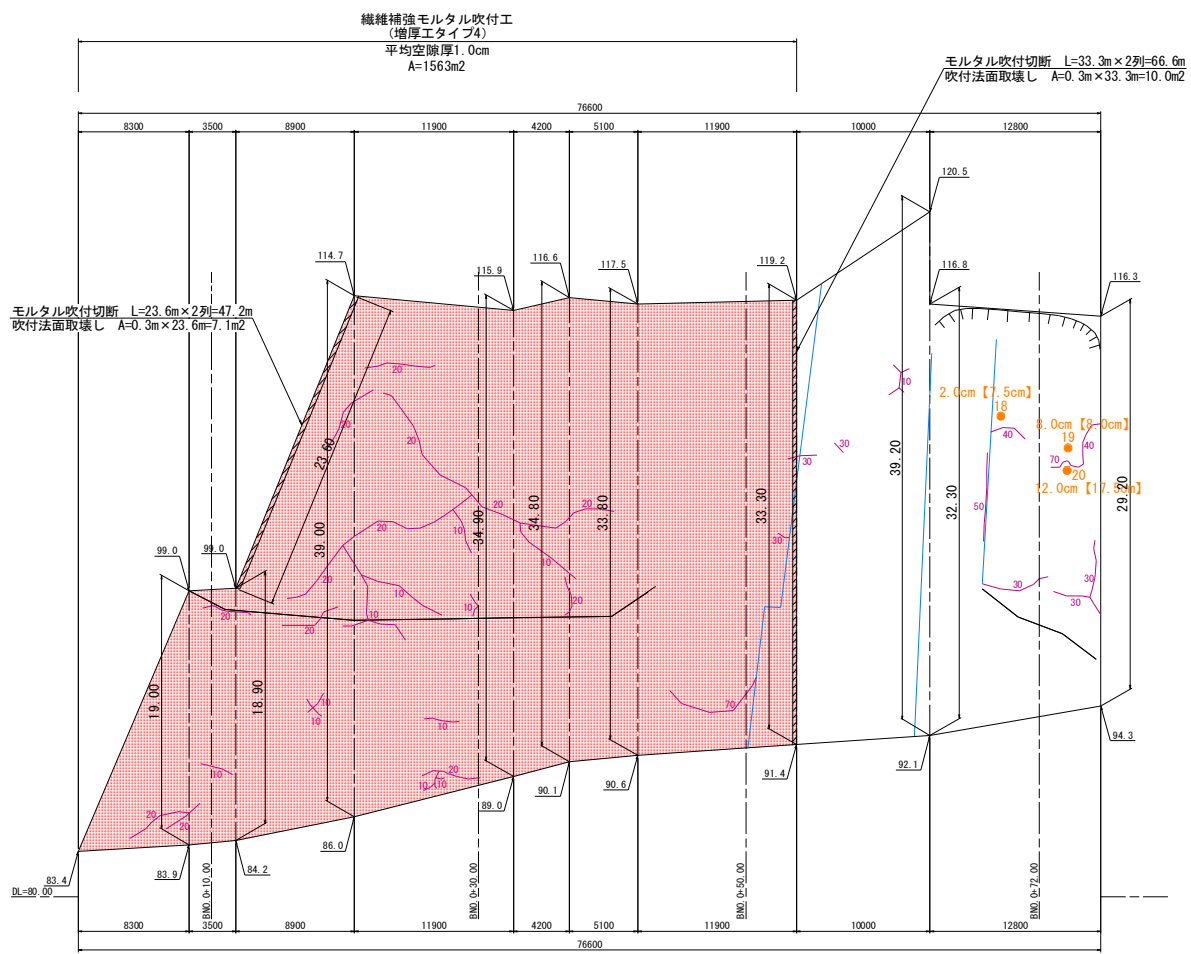


凡例

	崩壊跡
	地形変化位置 (遷急線)
	段差を伴う 開口亀裂 幅10mm以上
	目地
	ラス金網露出
	補修跡 (緑ネット)

● コア抜き実施箇所
6.0cm【18.0cm】 空隙厚、【空隙+土砂化】厚

法面展開図



法尻モルタル吹付工 A=26m2

参 考 图 书

施工単価表

のり面水洗清掃工
圧力水洗浄

V1001

単第0 -0002 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.93	人			
法面工	2.79	人			
普通作業員	0.93	人			
高圧洗浄機 工事用・モータ駆動 吐出量30.1L/min圧力4.9MPa	1.86	日			
発動発電機運転 20/25kVA	0.93	日			単第0-0003 表
雑材料	10	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

カップルボルト工

V1005

単第0 -0004 表

頁0 -0004

100

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.56	人			
法面工	1.12	人			
普通作業員	0.56	人			
発動発電機運転 10.5/13kVA	0.56	日			単第0-0005 表
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm	1.12	日			
材料費 カップルボルト	100	個			
雑材料	10	%			#09
*** 合計 ***	100	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

施工単価表

注入孔穿孔工

V1006

単第0 -0006 表

頁0 -0006

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.59	人			
法面工	4.77	人			
普通作業員	1.59	人			
空気圧縮機運転 吐出量10.5～11m ³ /min圧力0.7MPa	1.59	日			単第0-0007 表
さく岩機 ハンドドリル(空圧式) 15kg級	3.18	日			
材料費 VP30	16	m			
雑材料	10	%			#09
*** 合計 ***	100	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施工単価表

頁0 -0008

増厚工
短繊維混入吹付 t=7cm

V1007

単第0 -0008 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.11	人			
法面工	3.33	人			
特殊作業員	1.11	人			
普通作業員	3.33	人			
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	3.822	t			
コンクリート用砂 細目(洗い)	10.5	m3			
短繊維 のりファイバーNRF-03 3.1kg/m3	28.2	kg			
モルタルコンクリート吹付機(法面用) 湿式 能力0.8~1.2m3/h所要空気量10~19m3/min	7.8	時間			
計量器 骨材累加算・機械式 ひょう量300kg×1槽・2桿	1.11	日			
ベルトコンベヤ(ポータブル) モータ駆動 ベルト幅350mm機長7m	2.22	日			
空気圧縮機運転 吐出量10.5~11m3/min圧力0.7MPa	1.11	日			単第0-0007 表
発動発電機運転 37/45kVA	1.11	日			単第0-0009 表

施工単価表

水抜きパイプ設置工

V1009

単第0 -0011 表

頁0 -0012

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.22	人			
法面工	6.66	人			
普通作業員	2.22	人			
空気圧縮機運転 吐出量10.5～11m ³ /min圧力0.7MPa	2.22	日			単第0-0007 表
さく岩機 ハンドドリル(空圧式) 15kg級	4.44	日			
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径50(60×4.1×4) 参考質量1.122kg/m	4.25	本			
雑材料	10	%			#09
*** 合計 ***	100	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施工単価表

繊維補強モルタル吹付工
タイプ4

V0001

単第0 -0012 表

1000 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
のり面水洗清掃工 圧力水洗浄	1,000	m2			単第0-0002 表
アンカーボルト削孔工 D19 L=0.6m	222	本			単第0-0013 表
アンカーボルト注工	222	本			単第0-0014 表
カップルプレート工(A)	222	組			単第0-0016 表
カップルボルト工	1,778	本			単第0-0004 表
注入孔穿孔工	222	箇所			単第0-0006 表
増厚工 短繊維混入吹付 t=7cm	1,000	m2			単第0-0008 表
水抜きパイプ設置工	250	箇所			単第0-0011 表
*** 合計 ***	1,000	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

アンカーボルト削孔工
D19 L=0.6m

V1002

単第0 -0013 表

100

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	3.81	人			
法面工	15.24	人			
普通作業員	7.62	人			
さく岩機 ハンドドリル(空圧式) 15kg級	7.62	日			
空気圧縮機運転 吐出量10.5~11m3/min圧力0.7MPa	3.81	日			単第0-0007 表
アンカーボルト D19 L=0.6m	100	本			
雑材料	10	%			#09
*** 合計 ***	100	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

施工単価表

アンカーボルト注入工

V1003

単第0 -0014 表

頁0 -0015

100

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.04	人			
法面工	1.04	人			
普通作業員	1.04	人			
特殊作業員	1.04	人			
グラウトミキサ 上下2槽式 攪拌容量200L×2槽	1.04	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	1.04	日			
工事用水中モータポンプ 普通型(潜水ポンプ) 口径 50mm全揚程10m	1.04	日			
発動発電機運転 20/25kVA	1.04	日			単第0-0003 表
注入材	0.19	m3			単第0-0015 表
雑材料	3	%			#09
*** 合計 ***	100	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

施工単価表

空隙充填注入工

V1008

単第0 -0017 表

頁0 -0018

10

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	11.11	人			
法面工	11.11	人			
特殊作業員	11.11	人			
普通作業員	11.11	人			
グラウトミキサ 上下2槽式 攪拌容量200L×2槽	11.11	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	11.11	日			
グラウト流量・圧力測定装置 記録式 流量0~120L/min圧力0~5.9MPa	11.11	日			
工事用水中モータポンプ 普通型(潜水ポンプ) 口径 50mm全揚程10m	11.11	日			
水槽(一般工事用) 鋼板製簡易水槽 容量5m3	11.11	供用日			
発動発電機運転 20/25kVA	11.11	日			単第0-0003 表
注入材	10.0	m3			単第0-0015 表
雑材料	10	%			#09

施工単価表

頁0 -0021

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0019 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 13.11%

労務構成比:

50.94%

材料構成比: 35.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,264.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	8.92%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	17.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.50%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	7.79%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	32.35%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.45%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

吹付法面取壊し

SPK25040028

単第0 -0020 表

集積積込有り

人力施工

1

m2 当り

機械構成比: 1.43% 労務構成比:

97.31%

材料構成比: 1.26%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,134.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.5m3(平積0.4) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.43%		バックホウ [クローラ型] 山積0.5m3(平積0.4m3)		KTPC00031 KTPT00031
法面工	50.45%		法面工		RTPC00003 RTPT00003
普通作業員	18.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	17.80%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	3.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.26%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 集積積込有り			B=1 人力施工		

施工単価表

殻運搬

SPK25040155

単第0 -0021 表

吹付法面とりこわし(モルタル)

DID区間無し 運搬距離0.5km以下

1

m3 当り

機械構成比: 20.72% 労務構成比:

65.82% 材料構成比: 13.46%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

573.84000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ダンプトラック 積載質量4t	20.72%		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t積級		KTPC00055 KTPT00055
運転手(一般)	65.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.46%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=4 吹付法面とりこわし(モルタル) C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=2 運搬距離0.5km以下		

数量集計表

種 別	細 別	規 格	単 位	設計数量	計上数量	摘 要
法面工						
	繊維補強モルタル吹付工	増厚工タイプ2	m2	188.7	189	
	繊維補強モルタル吹付工	増厚工タイプ4	m2	1965.5	1966	
	空隙充填注入工		m3	21.54	21.5	
	法尻吹付工	モルタル吹付 t=7cm H≤45	m2	26.3	26	
構造物取壊し工						
	モルタル吹付切断		m	113.8	114	47.2+66.6
	吹付法面取壊し	無筋構造物・機械	m2	17.1	17	7.1+10.0
運搬処理工						
	殻運搬	コンクリート殻・機械	m3	0.86	0.9	平均t=0.05
	殻処分	コンクリート殻・機械	t	2.0	2	

法面工数量計算書

繊維補強モルタル吹付工(増厚工タイプ2)

(m)

測点	法肩延長	法尻延長	平均延長	法長	平均法長	面積
(ANO.0+151付近～ANO.0+158付近) 1段目						
起点				26.800		
終点	7.00	7.00	7.00	27.100	26.950	188.7
小計			7.00			188.7

繊維補強モルタル吹付工(増厚工タイプ4)

(m)

測点	法肩延長	法尻延長	平均延長	法長	平均法長	面積
(ANO.0+158付近～ANO.0+176付近) 1段目						
起点				27.100		
	11.00	11.00	11.00	27.500	27.300	300.3
				22.200		
	2.20	2.20	2.20	22.200	22.200	48.8
終点	4.80	4.80	4.80	0.000	11.100	53.3
小計			18.00			402.4
(BNO.0+0付近～BNO.0+54付近)1段目						
起点				0		
	8.30	8.30	8.30	19.000	9.500	78.9
	3.50	3.50	3.50	18.900	18.950	66.3
	8.90	8.90	8.90	39.000	28.950	257.7
	11.90	11.90	11.90	34.900	36.950	439.7
	4.20	4.20	4.20	34.800	34.850	146.4
	5.10	5.10	5.10	33.800	34.300	174.9
終点	11.90	11.90	11.90	33.300	33.550	399.2
小計			53.8			1563.1
合計			71.8			1965.5

空隙充填注入工

箇所名	面積	平均空隙厚	体積
	(m ²)	(cm)	(m ³)
(ANO.0+151付近～ANO.0+158付近) 1段目	188.7	1.0	1.89
(ANO.0+158付近～ANO.0+176付近) 1段目	402.4	1.0	4.02
(BNO.0+0付近～BNO.0+54付近)1段目	1563.1	1.0	15.63
合計			21.54

法尻モルタル吹付工

(m)

測点	延長	法長	平均法長	面積
起点		1.000		
	7.00	1.300	1.150	8.1
終点	11.00	2.000	1.650	18.2
小計	18.00			26.3

